

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0866
 住 所 川崎市川崎区水江町5番地1
 氏 名 JFEプラリソース株式会社
 代表取締役社長 田村 望 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	JFEプラリソース株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区水江町5番地1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	R	サービス業(他に分類されないもの)
	中分類	88	廃棄物処理業
主たる事業 の内容	容器包装プラスチックの再商品化リサイクル		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		6,260 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

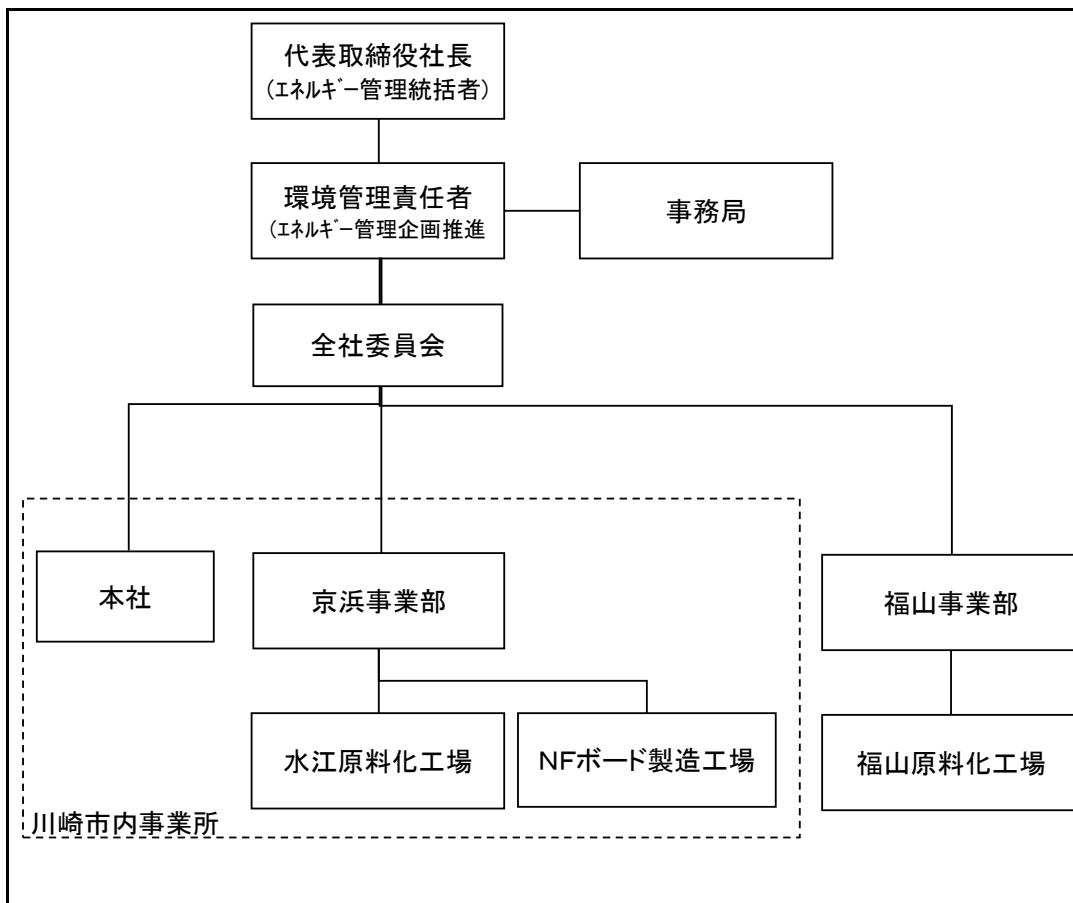
1. JFEプラリソース株式会社は、容器包装プラスチックリサイクル事業を通じて循環型社会の実現に貢献します。環境保全の重要性を認識し、事業活動に伴う環境負荷をできるだけ少なくするために、環境マネジメントシステムを導入し、環境方針を全従業員に周知するとともに、全社一丸となって積極的に環境保全活動に取り組みます。
2. 行動指針
- (1) 適用される関連法規及び規制を遵守します。
 - (2) 環境マネジメントシステムを構築し、維持し、継続的に改善します。
 - (3) 具体的には、以下の事項に取り組みます。
 - ① 省エネルギー及びプラスチックリサイクルの推進による二酸化炭素排出量の削減
 - ② 用水使用量の削減による省資源
 - ③ リサイクル率向上等による産業廃棄物の削減
 - ④ 工場見学受入・環境展への参加等を通じて地域環境教育への積極的な取り組み
 - ⑤ グリーン購入の推進

川崎市内事業所も上記方針で取り組む。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（P D C Aサイクル）を行うための方針

I S O 1 4 0 0 1 に則って、CO2削減を推進する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等		
基 準 年 度		2021	年度		
目 標 年 度		2024	年度		
基 準 排 出 量	(実)	13,064	(実)		
	(調)	12,807 t-CO ₂	(調)		
			t-CO ₂		
目 標 排 出 量	(実)	12,672	(実)		
	(調)	12,423 t-CO ₂	(調)		
			t-CO ₂		
削 減 量	(実)	392 t-CO ₂	(実)		
			t-CO ₂		
内 訳	対策実施による削減量	(実)	392 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
削 減 率	(実)	3.0 %	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
原 単 位 等 の 活 動 量		廃ﾌﾟﾗﾝﾙ	
原 単 位 の 単 位		t-CO ₂ /t	
基 準 年 度 の 値		0.1970	
目 標 年 度 の 値		0.1911	
削 減 率		3.0 %	%

ウ 目標設定に関する説明

温室効果ガスの排出量の増加を極力抑制するため、排出量原単位を年平均で1%以上削減することを前提に目標を設定した。

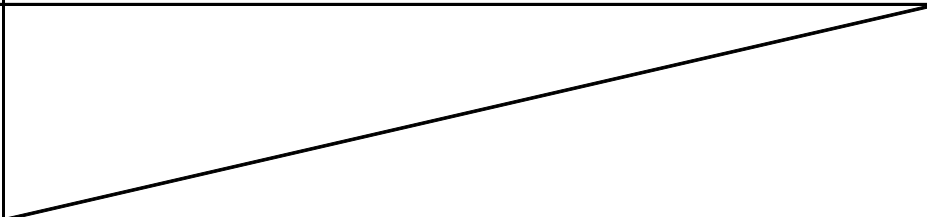
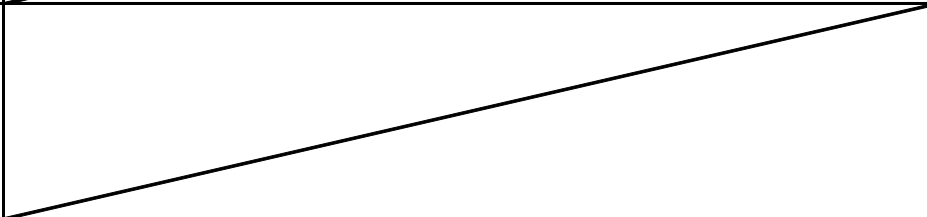
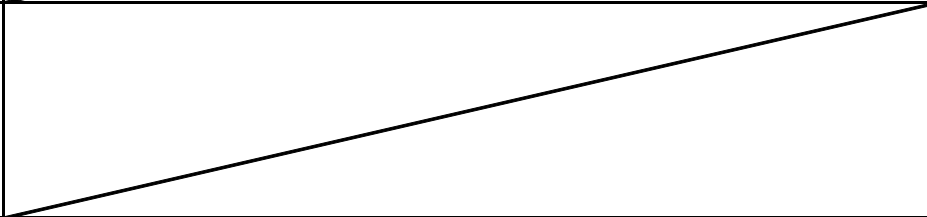
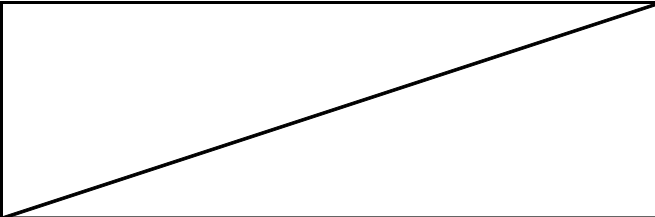
(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

温室効果ガスの排出量の増加を極力抑制するため、排出量原単位を年平均で1%以上削減する。

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>○推進体制の整備 全社環境管理組織を整備し、環境マネジメントシステム(ISO14001)を導入、認証を取得している。更新審査を受け、適合の判定を得る。 ○主要設備の保全管理 設定した主要設備の管理基準に従い、電流値・温度・圧力・能率等を適性に管理した。2022年度ペレタイザーを老朽更新する。 ○環境教育 全社の品質環境方針を策定し、ISO9001・ISO14001の品質環境教育を実施した。全社員への周知として、年度目標値を教育する。 ○原料・製品等の横持ちを減らし、フォークリフト等の燃料を削減する。</p>
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<p>2015年度更新した効率の良いペレタイザーの運用比率をアップさせている。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他(グリーンエネルギー証書)	○	グリーン電力証書購入: 水江原料化工場5,000kwh、NFボード製造工場5,000kwh
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
バイオマス発電	グリーン電力証書: 水江原料化工場5,000kwh NFボード製造工場5,000kwh	平成27年度
バイオマス発電	グリーン電力証書: 水江原料化工場5,000kwh NFボード製造工場5,000kwh	平成28年度
バイオマス発電	グリーン電力証書: 水江原料化工場5,000kwh NFボード製造工場5,000kwh	平成29年度
バイオマス発電	グリーン電力証書: 水江原料化工場5,000kwh NFボード製造工場5,000kwh	平成30年度
バイオマス発電	グリーン電力証書: 水江原料化工場5,000kwh NFボード製造工場5,000kwh	令和1年度
バイオマス発電	グリーン電力証書: 水江原料化工場5,000kwh NFボード製造工場5,000kwh	令和2年度
バイオマス発電	グリーン電力証書: 水江原料化工場5,000kwh NFボード製造工場5,000kwh	令和3年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	1. 低CO ₂ 川崎ブランドに選定 製品名：再生プラスチックコンクリート型枠「NFボード®」 年間のCO ₂ 削減量：466 t-CO ₂ 2. 川崎メカニズム認証取得、認証された域外貢献量：253 t-CO ₂ 3. JFEスチール東日本製鉄所での廃プラ利用促進によるCO ₂ 削減 年間の廃プラ利用量20.6千t CO ₂ 削減量：57.0千t-CO ₂ 4. グリーン電力証書購入：10,000kwh CO ₂ 削減量：4.4 t-CO ₂
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	特になし。
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	13,064	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

6,260	K L
-------	-----

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
京浜事業部	川崎区水江町5番地1	13,064 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂